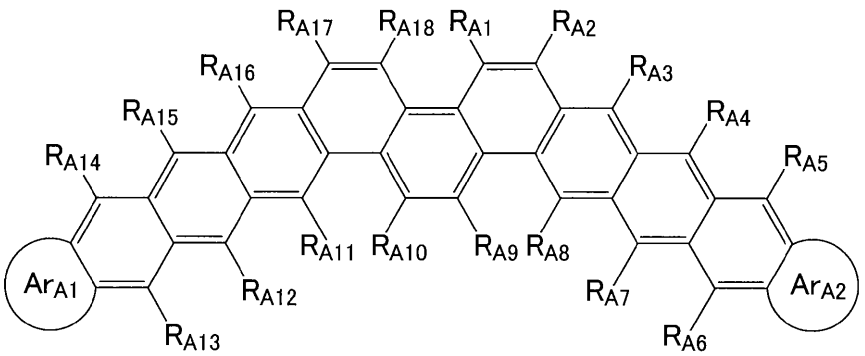
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和6年3月27日(2024.3.27)

【国際公開番号】WO2023/013273
【出願番号】特願2023-539690(P2023-539690)
【国際特許分類】
C07C 15/20(2006.01)
C07D333/50(2006.01)
H10K 10/46(2023.01)
H01L 29/786(2006.01)
【FI】
C07C 15/20 CSP
C07D333/50
H10K 10/46
H01L 29/78 618B

【手続補正書】
【提出日】令和5年11月20日(2023.11.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の単環式芳香族環を含む縮合環を有し、
前記縮合環において、前記単環式芳香族環の数が１１であり、
１１つの前記単環式芳香族環のうち、チオフェン環の数が２以下であり、
前記縮合環は、２つのナフタセン構造を含む、縮合環化合物。
【請求項２】
１１つの前記単環式芳香族環は、それぞれ独立して、ベンゼン環またはチオフェン環である、請求項１に記載の縮合環化合物。
【請求項３】
前記縮合環が線構造を有する、請求項１に記載の縮合環化合物。
【請求項４】
下記式（Ｉ）で表される、請求項１に記載の縮合環化合物。
【化１】



(I)

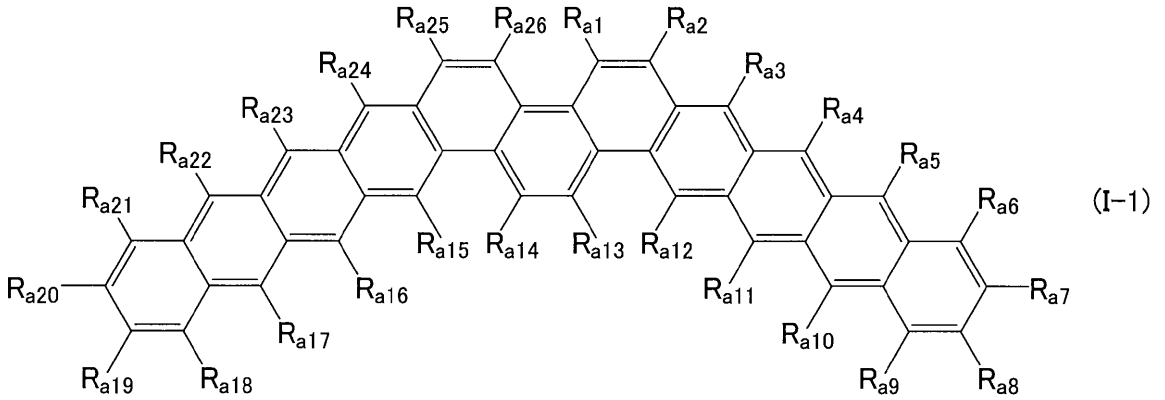
前記式（Ｉ）において、R_{A1}からR_{A18}は、それぞれ独立して、水素原子または炭化

水素基であり、Ar_{A1}およびAr_{A2}は、それぞれ独立して、置換基を有していてもよいベンゼン環または置換基を有していてもよいチオフェン環である。

【請求項５】

下記式（Ｉ－１）、下記式（Ｉ－２）、下記式（Ｉ－３）、下記式（Ｉ－４）または下記式（Ｉ－５）で表される、請求項１に記載の縮合環化合物。

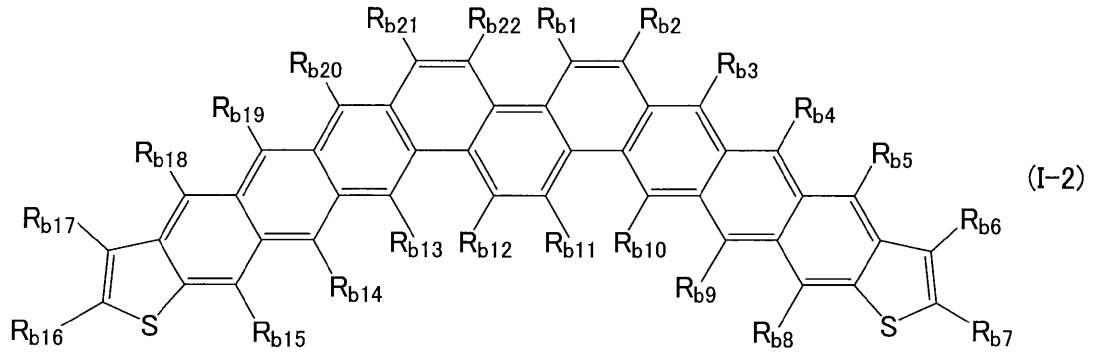
【化２】



(I-1)

前記式（Ｉ－１）において、R_{a1}からR_{a26}は、それぞれ独立して、水素原子または炭化水素基である。

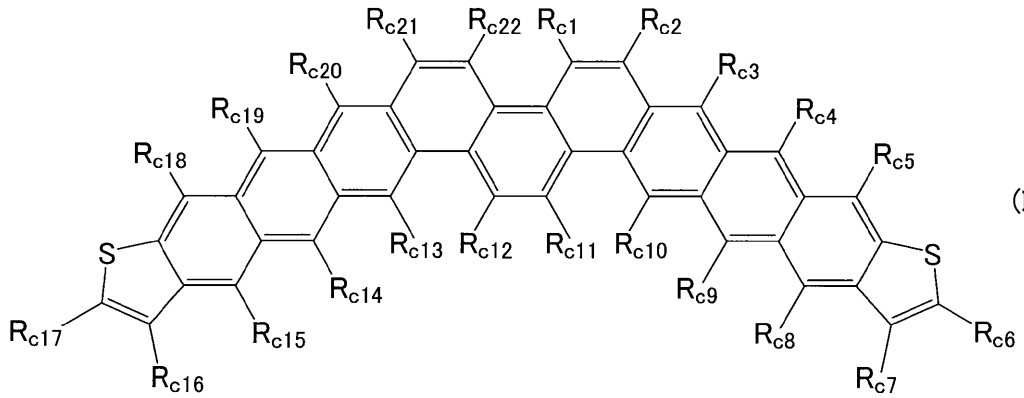
【化３】



(I-2)

前記式（Ｉ－２）において、R_{b1}からR_{b22}は、それぞれ独立して、水素原子または炭化水素基である。

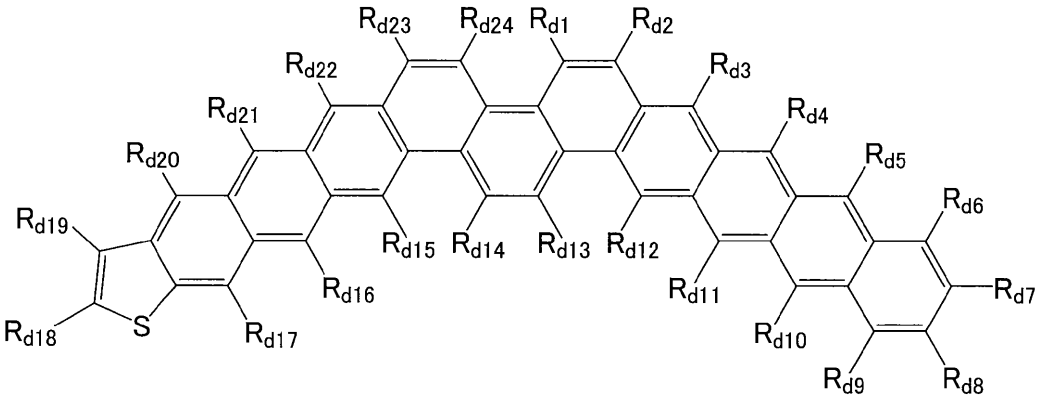
【化４】



(I-3)

前記式（Ｉ－３）において、R_{c1}からR_{c22}は、それぞれ独立して、水素原子または炭化水素基である。

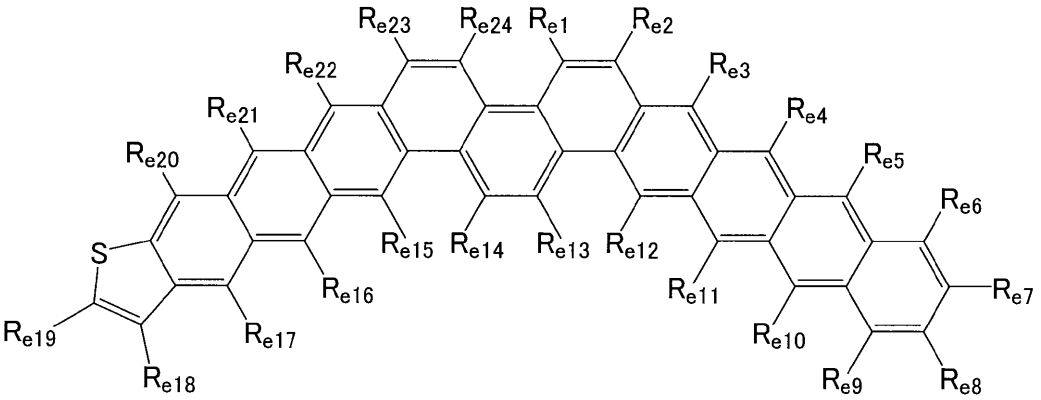
【化５】



(I-4)

前記式（Ｉ－４）において、R_{d1}からR_{d24}は、それぞれ独立して、水素原子または炭化水素基である。

【化６】



(I-5)

前記式（Ｉ－５）において、R_{e1}からR_{e24}は、それぞれ独立して、水素原子または炭化水素基である。

【請求項６】

前記縮合環がC_{2v}の対称性を有する、請求項１に記載の縮合環化合物。

【請求項７】

請求項１から６のいずれか１項に記載の縮合環化合物を含む、半導体材料。

【請求項８】

請求項７に記載の半導体材料を含む、電子デバイス。

【請求項９】

ソース電極と、

ドレイン電極と、

ゲート電極と、

請求項７に記載の半導体材料を含む半導体膜と、

を備えた、電子デバイス。